

初等教科教育法（生活）	担当教員	単位数	授業形態
	眞喜志悦子	2	e-Learning

I 学修の概要

生活科は、児童の生活圏を学習の対象や場とし、それらと直接関わる活動や体験とそこから得られた「気付き」を自覚し、感じたことや考えたことを友だちと共有したり、それを表現したりすることを繰り返し行うなかで「気付き」の質を高め、自立への基礎を養うことをねらいとしている。本講座では、生活科の内容構成や学びの特性、合科的・関連的な指導の在り方などについて理解し、幼児教育との関連について踏まえた上で、単元計画を作成することを目指す。

II 学修到達目標

- (1) 生活科が新設された経緯を整理することができる
- (2) 生活科の意義について説明することができる
- (3) 資質・能力の三つの柱と生活科との関連について理解することができる
- (4) 学習指導要領に示された生活科の教科目標について説明することができる
- (5) 学習指導要領に示された生活科の学年の目標や内容のまとまりについて整理することができる
- (6) まとまりを意識した生活科の内容の全体構成について説明することができる
- (7) 生活科における学びの過程について説明することができる
- (8) 小学校低学年の児童における自分自身についての気付きについて、具体的に説明することができる
- (9) 具体的な授業の活動場面を通して、学校、家庭及び地域の生活に関する内容について理解することができる
- (10) 学校、家庭及び地域の生活に関する内容についてどのような資質・能力が育まれるのか説明することができる
- (11) 具体的な授業の活動場面を通して、身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容について理解することができる
- (12) 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容についてどのような資質・能力が育まれるのか説明することができる
- (13) 具体的な授業の活動場面を通して、自分自身の生活や成長に関する内容について理解することができる
- (14) 自分自身の生活や成長に関する内容についてどのような資質・能力が育まれるのか説明することができる
- (15) 単元「きれいにさいてね わたしのはな」の実践事例を通して、活動の様子や児童の姿を捉えることができる
- (16) 捉えた児童の姿をもとに、児童にどのような資質・能力が育まれたのか説明することができる
- (17) 生活科の学習評価を進めるにあたり、学習指導要領に基づき、単元ごとに観点別に評価基準を整理・検討することができる
- (18) 生活科と他教科等との関連を整理・検討することができる
- (19) 整理・検討したことをもとに、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続を意識した指導について説明することができる
- (20) 幼児期にとっての遊びと育みたい3つの資質・能力との関連を整理・検討することができる
- (21) 整理・検討したことをもとに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続について説明することができる
- (22) 生活科の年間指導計画を通して、単元ごとの指導内容やその構成について理解することができる
- (23) 内容の構成要素を踏まえて単元を構想し、単元計画を作成することができる

III 目的

小学校学習指導要領（生活）をもとに、生活科の授業での理論と方法を学びそれら基礎的事項を理解し、単元計画を作成する

IV 小中連携教育コーディネータに必要な資質・能力

- (1) 学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる
- (2) 幼・小・中学校の系統性、子供の実態を踏まえて指導計画を作成することができる
- (3) 教科の指導内容を適切に理解し、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる

- (4) 評価計画に沿って生徒一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる
- (5) 教科の専門性を踏まえ、子供一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる
- (6) 適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うことともに、自己の専門性向上に努めることができる

第1講 生活科がなぜ誕生したのか

1. 概要（何を学ぶか）

生活科がなぜ誕生したのか、現行の学習指導要領の目指すもの、非認知能力と生活科との関連について知り、生活科の果たす役割について考える。

2. 学修到達目標

- (1) 生活科が新設された経緯を整理することができる
- (2) 生活科の意義について説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 生活科が新設された経緯を整理しなさい
- (2) 生活科の意義について説明しなさい

第2講 生活科の目指すもの

1. 概要（何を学ぶか）

生活科は、具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かすことで、結果として、自立し生活を豊かにしていくことを目指していることを理解する。

2. 学修到達目標

- (1) 資質・能力の三つの柱と生活科との関連について理解することができる
- (2) 学習指導要領に示された生活科の教科目標について説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 資質・能力の三つの柱と生活科との関連について整理しなさい
- (2) 学習指導要領に示された生活科の教科目標について説明しなさい

第3講 生活科の内容構成

1. 概要（何を学ぶか）

生活科の内容のまとまりと学年の目標との関係について整理し、まとまりを意識した生活科の内容の全体構成について考える

2. 学修到達目標

- (1) 学習指導要領に示された生活科の学年の目標や内容のまとまりについて整理することができる
- (2) まとまりを意識した生活科の内容の全体構成について説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 学習指導要領に示された生活科の学年の目標や内容のまとまりについて整理しなさい
- (2) まとまりを意識した生活科の内容の全体構成について説明しなさい

第4・5講 生活科の学びの特性

1. 概要（何を学ぶか）

生活科における学びの過程について理解し、児童の学びを質的に高める深い学びの視点による学習指導について考える

2. 学修到達目標

- (1) 生活科における学びの過程について説明することができる
- (2) 児童の学びを質的に高める深い学びの視点による学習指導について説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 生活科における学びの過程について説明しなさい
- (2) 児童の学びを質的に高める深い学びの視点による学習指導について説明しなさい

第6講 学年目標の項目① 学校、家庭及び地域の生活に関する内容

1. 概要（何を学ぶか）

具体的な授業の活動場面を通して、学校、家庭及び地域の生活に関する内容について理解し、学校、家庭及び地域の生活に関する内容についてどのように資質・能力を育てていくのかについて考える

2. 学修到達目標

- (1) 具体的な授業の活動場面を通して、学校、家庭及び地域の生活に関する内容について理解することができる
- (2) 学校、家庭及び地域の生活に関する内容についてどのような資質・能力を育まれるのか説明することができる

3. 追究トピックス

(1) 具体的な授業の活動場面を通して、学校、家庭及び地域の生活に関する内容について整理しなさい

第7講 学年目標の項目② 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容

1. 概要（何を学ぶか）

具体的な授業の活動場面を通して、身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容について理解し、身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容についてどのように資質・能力を育てていくのかについて考える

2. 学修到達目標

- (1) 具体的な授業の活動場面を通して、身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容について理解することができる
- (2) 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容についてどのような資質・能力を育まれるのか説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 具体的な授業の活動場面を通して、身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容について整理しなさい
- (2) 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容についてどのような資質・能力を育まれるのか説明しなさい

第8講 学年目標の項目③ 自分自身の生活や成長に関する内容

1. 概要（何を学ぶか）

具体的な授業の活動場面を通して、自分自身の生活や成長に関する内容について理解し、自分自身の生活や成長に関する内容についてどのように資質・能力を育てていくのかについて考える

2. 学修到達目標

- (1) 具体的な授業の活動場面を通して、自分自身の生活や成長に関する内容について理解することができる
- (2) 自分自身の生活や成長に関する内容についてどのような資質・能力を育まれるのか説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 具体的な授業の活動場面を通して、自分自身の生活や成長に関する内容について整理しなさい
- (2) 自分自身の生活や成長に関する内容についてどのような資質・能力を育まれるのか説明しなさい

第9講 単元の具体的な指導 ～きれいにさいてね わたしのはな～

1. 概要（何を学ぶか）

単元「きれいにさいてね わたしのはな」の実践事例を通して、活動の様子や児童の姿を捉えた上で、児童の姿をもとに、児童にどのような資質・能力が育まれたのかを考える

2. 学修到達目標

- (1) 単元「きれいにさいてね わたしのはな」の実践事例を通して、活動の様子や児童の姿を捉えることができる
- (2) 捉えた児童の姿をもとに、児童にどのような資質・能力が育まれたのか説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 単元「きれいにさいてね わたしのはな」の実践事例を通して、活動の様子や児童の姿を整理・検討しなさい
- (2) 整理・検討した児童の姿をもとに、児童にどのような資質・能力が育まれたのか説明しなさい

第10講 生活科の学習評価

1. 概要（何を学ぶか）

生活科の学習評価を進めるにあたり、学習指導要領に基づき、単元ごとに観点別に評価基準を整理・検討する

2. 学修到達目標

- (1) 生活科の学習評価を進めるにあたり、学習指導要領に基づき、単元ごとに観点別に評価基準を整理・検討することができる

3. 追究トピックス

- (1) 生活科の学習評価を進めるにあたり、学習指導要領に基づき、単元ごとに観点別に評価基準を整理・検討しなさい

第11講 生活科を中心とした合科的・関連的な指導

1. 概要（何を学ぶか）

生活科と他教科等との関連を整理・検討し、整理・検討したことをもとに、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続を意識した指導について考える

2. 学修到達目標

- (1) 生活科と他教科等との関連を整理・検討することができる
- (2) 整理・検討したことをもとに、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続を意識した指導について説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 生活科と他教科等との関連を整理・検討しなさい
- (2) 整理・検討したことをもとに、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続を意識した指導について説明しなさい

第12講 生活科を中心とした合科的・関連的な指導

1. 概要（何を学ぶか）

幼児期にとっての遊びと育みたい3つの資質・能力との関連を整理・検討し、整理・検討したことをもとに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続について考える

2. 学修到達目標

- (1) 幼児期にとっての遊びと育みたい3つの資質・能力との関連を整理・検討することができる
- (2) 整理・検討したことをもとに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続について説明することができる

3. 追究トピックス

- (1) 生活科と幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を整理・検討しなさい
- (2) 整理・検討したことをもとに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続について説明しなさい

第13・14・15講 生活科の指導計画の作成

1. 概要（何を学ぶか）

生活科の年間指導計画を通して、単元ごとの指導内容やその構成について理解し、内容の構成要素を踏まえて単元を構想し、単元計画を作成する

2. 学修到達目標

- (1) 生活科の年間指導計画を通して、単元ごとの指導内容やその構成について理解することができる
- (2) 内容の構成要素を踏まえて単元を構想し、単元計画を作成することができる

3. 追究トピックス

- (1) 生活科の年間指導計画を通して、単元ごとの指導内容やその構成について整理することができる
- (2) 内容の構成要素を踏まえて単元を構想し、単元計画を作成しなさい

